

平成28年度の活動について（案）

平成28年6月13日
リニア推進特別委員会

1. 平成28年度のリニア関連事業概要

- ・JR東海では、平成28年秋以降、巾杭を設置し用地取得に向けた事務作業に入る計画としており、夏頃には地元説明会に入る計画とのことである。
- ・駅周辺整備については、基本計画を平成28年中にまとめ、平成29年には基本設計に入り、駅周辺の全体的なデザインの検討が進められる。
- ・県が主体となるリニア関連道路整備も、平成28年度には詳細な設計が進められる予定である。
- ・これらに合わせて、飯田市では、用地補償の意向調査を実施するとともに、これに基づき、リニア本線や県の事業との調整を図りながら、用地買収に向けた用地事務が平成29年始め頃から実施される予定である。
- ・次期総合計画が12月に策定されることから、リニア推進ロードマップにおける「3本の柱」「三つくり」と次期総合計画との連携を図る必要がある。

このように、平成28年度は関連事業の具体的な進捗が見られることから、リニア推進特別委員会として事業等の進捗状況を把握していくとともに、幅広い調査研究活動を並行して行うことが求められる。

2. 平成28年度の活動の方向について

（基本路線は、平成27年6月24日 リニア推進特別委員会にて了承済みの「リニア推進特別委員会の活動」に準ずる）

①リニア推進ロードマップの実現に向けての調査、研究の調査、研究

次期総合計画が12月に策定されることから、リニア推進ロードマップにおける「3本の柱」「三つくり」と次期総合計画との連携を図る必要がある。

【調査研究項目】

27年度 ○特になし

28年度 ○継続

②状況、情報の収集を図る

リニア駅周辺が目指す姿（基本理念）である「信州・伊那谷の個性で世界を惹きつけ、世界へ発信する玄関口」の実現に向けて先進事例等の研究を行うとともに、リニアによる地域づくりへの市民が描く想像力や創造力、課題等について、地域の声を聞く姿勢、機会をつくる。

【調査研究項目】

- 27年度**
- 管内視察（ルート、駅設置場所の視察）
 - 北条地区対策委員会との懇談会

- 28年度**
- 管内視察（別紙）
 - 管外視察（1泊2日）
 - 必要に応じて関係機関等との意見交換の場の設定

③議会内での情報共有

従前に増して、議会として特別委員会における情報の共有を図る必要がある。

【調査研究項目】

- 27年度**
- 協議資料の配布
 - 飯田信用金庫の「リニア開通に係る報告書」の講演会

- 28年度**
- 協議資料の配布

以上